

## 1 内政

### 16名の比人がヤップ州コロニア港で逮捕される

2日, ヤップ州のコロニア港でタグボートに乗っていた16名の比人が連邦警察により逮捕された。右タグボートは先にヤップで開催されたマイクロネシアンゲーム関係者用の宿泊施設としてヤップ州に船を派遣する予定だった比 Fahrenheit 社所有のもので, 同タグボートは無許可でEEZ内に侵入しており, 入国管理法違反で拘束された。

(8月2日付 カセリエプレス紙)

### チューク州選出のロモロウ連邦議会議員がチューク州独立に係わる決議案を提出

2日, 連邦議会において, チューク州選出のロモロウ議員は, 連邦議会がチューク州知事に対して独立問題に係わる住民投票の実施を再考するよう呼びかける決議案 (CR-20-110) を提出した。ロモロウ議員はチューク州独立に関する将来的な財政問題等の多くの質問に対する回答がなされていないと述べ, また同議員の選挙区であるチューク州北西地域は本件決議案の結果に関して強い関心を有していると述べた。今回の会期で本決議案が議論される機会はなかったが, 次期会期では議論されることが期待されている。

### 司法能力の強化のためのワークショップが開催される

7月23日から8月17日にかけて, ポンペイ州パリキールにて連邦司法省と最高裁判所, 豪政府の協力により, 司法能力の強化のためのワークショップが開催された。ワークショップにはFSMの司法関係者が参加しトレーニングを受けた。

(カセリエプレス紙)

### ヤマセ連邦最高裁長官, 児童売春容疑の4名の男に対して9年間の懲役判決

8日, ヤマセ連邦最高裁長官は4名の男に対して当時14~15歳であった児童に対し売春を強要したとして9年間の懲役と被害児童に対する毎月1000ドルの罰金の支払いを命じた。今回の判決はこれまでの中で一番重い判決であったが, かかる犯罪に対する刑罰は最高30年まで課することができる。

(8月16日付 カセリエプレス紙)

## 2名のポンペイ州ヌクロ市の市職員が1万8千ドルの横領容疑で逮捕

16日、2名のポンペイ州ヌクロ市の市職員が役場から1万8千ドルを横領したとして逮捕された。右不正はポンペイ州会計監査局の監査によって発覚した。

(8月16日付 カセリエプレス紙)

## F S M婦人会議の開催

26日から30日にかけて、ポンペイ州にて“Working for progress”と題した第8回F S M婦人会議が開催された。ミクロネシア連邦4州から各代表の数百名の女性が参加し、ミクロネシアにおける女性の社会進出を促し、また、社会開発における女性の役割強化策等につき議論された。また、会議開催中、当地豪大使館や米大使館が参加者のためにレセプションを行った他、会議最終日にはシナ連邦議会議長及びファニー・パーマン連邦議会議員主催による閉会レセプションが盛大に開かれた。

(8月30日付 カセリエプレス紙)

## **2 外交**

### 黄 (Huang) 駐ミクロネシア中国大使、農産物の物産展に出席

21日、黄中国大使は、中国がポンペイ州で協力を続けている農業試験場でとれた農産物の物産展が開催され、そのオープニングに出席した。右農業試験場は過去20年に亘り中国が技術協力をしてきた試験場である。挨拶に立った黄大使は、農業は中国によるF S M支援の重要分野であり、農業試験場はこれまでも多くの利益を地元住等にもたらしてきた、試験場は中国とF S Mの協力のシンボリック的存在であると述べた。また、来客として出席したピーターソン・ポンペイ州知事は中国の支援は地域の農業振興に役に立っているとして、これまでの中国の支援に謝意を表した。

(8月21日付 当地中国大使館HP)

## **3 経 済**

### チューク州の利害関係者が早期の光ファイバーサービス開始を要求

ビクター・ゴerland連邦議会議員(連邦運輸インフラ委員会議長)は、チューク州における光ファイバーサービス計画開始の遅れを指摘する会合を開催した。同議員はミクロネシア連邦電話公社及びミクロネシア連邦ケーブル協会と面会した上で、遅れの原因は本件計画の出資者である世界銀行が出資の条件

として求める入札手続にあったと述べた。理由は明らかではないが、同電話公社が入札手続を行わなかったことが、ミクロネシア連邦ケーブル会社による光ファイバーケーブルを陸上に収納するための施設確保を困難なものとしているとされている。同社はL5ホテルの土地に光ファイバーケーブル用の装置を収納するための小さな建物を建設するために地権者と交渉するための手続をとっており、その建物から電話公社にケーブルを接続することを考えていたが、約1年の期間を要する事が判明したため、同電話公社は、同電話公社の土地に既に建設されている建物を利用することを提案したが、その際に入札手続が行われなかったことが本件を複雑にした要因となっており、世界銀行が資金を払うのか否かが注目されている。連邦財務省や同公社ですら入札手続が行われなかったことについては把握していない。クリスチャン大統領は既に百万ドルの費用を充当するための法案を準備しているが、まだ議会で諮られる状況ではない。

(8月1日付 カセレリエプレス紙)

#### ルエンタイとポンペイ州が裁判を終息させ、養殖漁業計画に合意

ピーターソン・ポンペイ州知事と Deng Lu を代表とするルエンタイ漁業企業 (Lian Cheng 海外漁業会社) は、ポンペイ州とルエンタイとの間の長期間にわたる民事事件に関する和解文書にサインをし、それと同時にポンペイ州港湾管理局の施設と同州の水道設備をマグロ養殖計画の実施のためにルエンタイが使用することについて合意した。当該計画はソケース自治区の APSCO (企業名) の土地で実施されることになる。一代前の同州知事である John Ehsa の時代に、Ehsa 知事と Miji Mulsan (同ルエンタイと関係を有する会社) との間に複雑な問題があったが、現在はピーターソン州知事とルエンタイはあらゆるお互いの訴訟を撤回及び取り消すことに合意した。これにより25年間の土地の租借契約をルエンタイが占有することになった。

(8月13日付 カセレリエプレス紙)

#### GSP のミクロネシアワークショップが沿岸漁業管理政策の戦略について議論

ミクロネシアは、社会の変貌や漁法の変化等に起因する、暮らし、食の安全及び文化の個性に影響を与える沿岸漁業の減少を消極的にじっと見つめてきた。8月20日から8月22日にかけて、沿岸漁業管理や政策について議論するミクロネシア NSA (Non-State Actors : 非政府組織や個人などの集まり) の円卓会議がポンペイ州の NSA リーダーを参集して開催され、この先10年間にわたる沿岸漁業の発展についての展望を発展させることに成功した。このワークショップは EU からの財政支援を GSP (Conservation Society of Pohnpei) が受け、

Pacific Island Forum 事務局の運営によって実施されたものである。  
(8月25日付 セレリエプレス紙)

#### 4 経済協力

特になし。

#### 5 文化・教育

##### 環境活動家, Vocal Trashによる演奏会の開催

11日, 当地米大使館の主催により環境活動家でもあるテキサス出身のバンド (Vocal trash) による演奏会が盛大に開催された。かれらはユニークな演奏活動を行っており, 不要になったゴミ (Trash) を楽器にしたてて演奏したりして, 環境保全の重要性についてについて訴える活動を行っている。

(8月11日付 カセリエプレス紙)